

特集

薬剤科の取り組みを紹介します！

本院の薬剤科の大きな特徴は、医師や看護師との密な連携体制です。「チーム医療」の推進は、本院が常に指針としているものでもあり、私たち薬剤師の意見も積極的に取り入れてもらっています。また、本院はカンファレンスや回診も多職種合同で行うため、情報共有がしやすい環境にあり、これが最大の強みと言えます。

主な業務としては、入院患者さんの服薬指導と薬剤管理に深く関わっています。タスクシフトの一環として、薬剤師ができることは積極的に行い、医師の負担軽減にも取り組んでいます。例えば、入院時に必要な薬について、医師の指示を確認した上で薬剤師が処方代行入力を行います。

また、調剤薬局からのお問い合わせを薬剤科が一元管理することで、外来患者さんの待ち時間の短縮につなげています。そのほか、薬局か

多職種連携の架け橋に。薬剤科が目指す最適の処方

ら届いた情報は医師と共有し、次回の処方内容に反映させることで、患者さんにより適したお薬への調整を継続して行っています。お問い合わせは、院内の医師と事前に取り決めた手順書（プロトコール）に基づいて対応しています。

薬剤師としてやりがいを感じるのは、患者さんの体調が良くなって薬を減らせたときですね。やはり、薬はできるだけ減らしてあげたいですし、多剤服用（ポリファーマシー）の解消にも貢献したいと考えています。「薬が減った」という、目に見える変化に喜びを感じてくださる患者さんやご家族もいらっしゃいます。

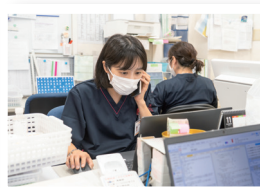
薬剤科科长 五十嵐



処方箋に基づき正確に。一剤一剤、細心の注意を払って調剤します



何気ない会話も大切に。地域に寄り添う温かな薬剤科の日常です



お薬の疑問や相談に丁寧にお答えします。お気軽にお問い合わせください



全自動錠剤分包機を活用し、精度の高い調剤体制を整えています

医療機関の
皆さまへ

入院時にご持参いただいた薬を確認すると、**残薬**を多量にお持ちの患者さんが少なくありません。これは、患者さんご自身の判断で服用を調整したり、うっかり服用を忘れていたために、医師に遠慮して「きちんと服用できず、薬がまだ残っている」と言いづらかったりすることが背景にあります。そこで、患者さんの声や服薬実態を聴き取り、不要な薬の有無を確認することで**ポリファーマシー対策**や**医療費の削減**にもつなげたいと考えています。

かかりつけ医の先生方におかれましては、院内に薬剤師が常駐していないケースが多いかと思えます。上記のような課題にも一緒に取り組みたいと思っておりますので、ぜひご相談ください。お問い合わせは電話でのご対応となりますが、私どもの知識と経験が、少しでも先生方のお力になれば幸いです。

当院の病院長が交代しました

就任のご挨拶

たゆまぬ対話と交流を重ね 皆様とともに歩む病院として全力を尽くします

このたび4月1日付けで鈴木前病院長の後を引き継ぎ、取手北相馬保健医療センター医師会病院の病院長に就任いたしました。これまで当院が地域医療の中で果たしてきた役割に深く敬意を表するとともに、その責任の重さを強く感じております。

私の専門は腎臓内科ですが、近年注目されている慢性腎臓病（CKD）は、加齢や不適切な生活習慣を背景に発症・進展することが多い疾患です。高血圧や糖尿病などの生活習慣病対策、さらに高齢者に多いフレイルやサルコペニアへの取り組みは、CKD対策そのものであり、全身を診る医療の重要性を改めて認識しています。この4月より、月曜日から金曜日まで午前中に腎臓内科外来を開設しておりますので、どうぞご遠慮なくご紹介ください。

また本年は、2040年を見据えた新たな地域医療構想

策定の初年度に当たります。生産年齢人口の減少と高齢者ニーズの多様化に対応するため、従来の病床機能の分化にとどまらず、救急、在宅医療、介護との連携を含めた医療提供体制全体の再構築が求められています。特に取手地域は、茨城県内でも高齢者人口の増加が著しく、高齢者医療を重点的に強化する必要があります。

これらを実現するためには、地域の先生方との円滑な診療連携の維持、そして多職種が顔の見える関係で協働する体制の構築が不可欠です。そのためにも、たゆまぬ対話と交流を重ねてまいりたいと考えております。これまで本院が担ってきた役割を引き継ぎ、地域に開かれ、皆様とともに歩む病院として全力を尽くす所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

新病院長
山縣 邦弘



退任のご挨拶

36年間の温かいご支援 ありがとうございました

このたび3月31日をもって取手北相馬保健医療センター医師会病院の病院長を退任しました。

平成2年に外科医として一人で就任して以来、36年間あつという間の病院勤務でありました。その間、荒木恒夫先生、寺田達先生、眞壁文敏先生と、歴代の医師会長のもとで存分にやらせていただきました。外科医長から副病院長へ、そして平成21年には病院長へと役職は変わりましたが、皆様の温かいご支援のおかげでこれまでやってこれたと思います。少しは役に立ったような気もしますが、何もできなかったような気もしています。私の評価は、後世にまかせますが、素晴らしい仲間にもまれて地域医療を実践できたことに感謝しかありません。

医療において病気を治すことは、ごく限られた一面でしかありません。人間は、必ず亡くなります。たと

えがんとを治癒できても、永遠の命なるものはあり得ません。そここのところを勘違いすると、しばしば医療側のおごりとして現れます。それよりは、たとえ完治の見込みがなくても、朝早く起き、準備し、不自由な足で病院へ来られる高齢者に対して、少しでも生きる希望や意欲を帰りの路で感じていただくことが医療の本質であると考えます。そして当院の職員は、このことをよく理解し対応しています。この気持ちがあるかぎり、当院は、地域の人たちに信頼され長く継続する未来があると確信しています。

長い間、ありがとうございました。病院長の職は退任いたしますが、今後も当院の外科で非常勤として、診療に当たらせていただく所存でございますので、よろしく願いいたします。

前病院長
鈴木 武樹





外来診療のご案内



診療科目	月	火	水	木	金	土	
午前	内科	矢藤 宮本	矢藤 榎本	熊谷 馬場	熊谷	海老原 三木	海老原 山岡
	外科	鈴木 谷	田部井	田部井	江原	鈴木 谷 ※第1週	田部井
	整形外科	中島	吉田	中島	吉田 ※受付 11:15 まで	中島	当番医師 ※新患のみ
		深井	深井	吉田	大西 ※第1-3-5週 ※受付 10:30 まで	深井	
			山田		山田 ※受付 11:15 まで	山田	
	循環器内科		渡邊	渡邊	松下	飯岡 ※ 9:30 から診療 ※受付 11:00 まで	五味 ※第1週
	心臓血管外科					徳永 ※第2-4週	
	神経内科			林(明)			林(明)
	腎臓内科	山縣	斎藤	斎藤	山縣	山縣 ※第2-3-4-5週	
	脳神経外科					丸島	
	呼吸器 外科・内科		安藤			菅井 ※第1-3-5週	
	乳腺外来	谷				谷 ※第1週	
	肝臓内科				屋良		
	ストーマ外来				第1-3-5週		
	内視鏡検査	幸地	岩本・ファム ※第1-3-5週 鈴木・小村 ※第2-4週	幸地	幸地	当番医師	当番医師
大腸内視鏡検査				幸地 ※予約制			
午後	内科		屋良		熊谷		
	血液内科				担当医師 ※受付 15:00 まで		
	循環器内科		榎本 ※ 13:00 から診療 ※受付 15:30 まで			飯岡 ※第4週 ※受付 14:00 まで	
	脳神経外科		角 ※ 14:00 から診療				
	頭痛専門外来		角 ※ 14:00 から診療				
	呼吸器内科		安藤				
	呼吸器 外科・内科			関根			
	緩和ケア内科	工藤 ※予約制 ※再診のみ	工藤 ※予約制 ※初診のみ	工藤 ※予約制 ※再診のみ		工藤 ※予約制 ※初診のみ	
	膠原病 リウマチ科					三木 ※受付 15:30 まで	
	乳腺外来			小山 ※ 14:00 から診療			
	頭頸部形成外来	畠中 ※第3週 ※受付 15:00 まで					
大腸内視鏡検査	幸地 ※予約制		幸地 ※予約制	幸地 ※予約制			

【午前】受付時間 8:20 ~ 11:30 / 診療時間 9:00 ~ 【午後】受付時間 11:30 ~ 16:30 / 診療時間 13:30 ~

新しく赴任した医師をご紹介します

腎臓内科

齋藤 知栄 医師

筑波大学医学専門学群卒業



診察日

火曜日午前
水曜日午前



2026年4月より筑波大学附属病院 取手地域臨床教育ステーションへ赴任いたしました齋藤知栄と申します。千葉県流山市出身で、大学以降は茨城県に住んでおります。

筑波大学在職中は、慢性腎臓病の重症化予防の診療や研究、教育に従事しておりました。今後は取手市医師会の先生方と連携して、慢性腎臓病の発症予防ならびに重症化予防に尽力いたします。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

整形外科

山田 弘樹 医師

筑波大学医学群医学類卒業



診察日

火曜日午前
木曜日午前
金曜日午前



2026年4月より赴任しました、山田弘樹と申します。私はこれまで筑波大学整形外科関連病院で、一般整形外科を中心に研鑽を積んでまいりました。

地域医療の最前線でご尽力されている先生方と連携を取りながら、患者様に最適な医療を提供できるよう精進してまいります。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

■ ホームページのご案内

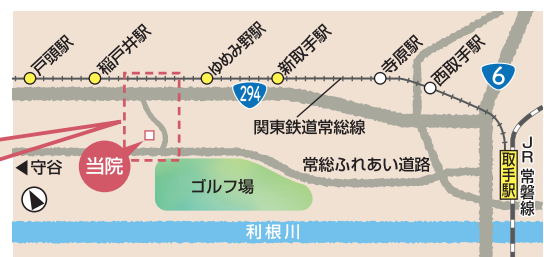


<https://www.ishikaibyoin.or.jp/>

スマホ・タブレットにも
対応しています!



■ 交通アクセス



- 取手駅西口から車で約11分。
- 取手（東口・西口）、新取手、ゆめみ野、稲戸井、戸頭の各駅からは送迎バスがあります。
- 常総ふれあい道路・国道294号線には案内板が出ています。案内板で曲がると、あとは道なりです。
- 当院は、TAC取手グリーンスポーツセンターの向かいにあります。

連携室だより「こころ」 第51号 令和8年5月発行

公益社団法人取手市医師会 取手北相馬保健医療センター医師会病院 医療連携室

〒302-0032 茨城県取手市野々井1926

TEL/0297-78-6183 (直通)・0297-78-6111 (代表) FAX/0297-78-6184 (直通)

受付時間/平日 8:30~16:30・土曜日 8:30~12:00